

# 専任教員支援員だより Vol.1

次世代定住課 TEL(67)2705

## 南阿蘇村地域再生(移住定住促進)モデル地区指定事業

### ■地域活性化に向けたワークショップが開催されました

地域に元気を取り戻そうという想いのもと、1月22日に下田地区公民館でワークショップが開催されました。熊本大学准教授の田中先生の進行により、集まった地域住民は「10年後の下田地区はこんなところになっている」というテーマでグループごとに活発に意見

を取り交わしました。これまで、自分が住んでいる地区について自分なりの想いはあっても、なかなか人と語り合う機会がなかった様子の皆さん。生活の困り事を改善できる施設案や下田地区に活気が出るような自由な意見が多く出ており、自分たちでこの地区を

盛り上げていこうという強い気持ちで伝わってきました。

ワークショップの最後にはこの会の名称を考え、皆さんのアイデアの中から「下田はどう会?」に決定しました。会の終了後に取りまとめたアンケートには、「いろいろな意見を聞いて良かった」、「さまざまな立場の人に参加してほしい」、「地区の全員参加を」という声が非常に多く、こうした機会を作ることの重要さを改めて実感しました。

下田地区では今後もワークショップを開催し、実際に本事業に取り組むかどうかを決定します。なお、本事業の詳細い内容は、次世代定住課までお問い合わせください。(坂本)

#### 〈問い合わせ〉

次世代定住課 TEL(67)2705

### 地域再生(移住定住促進)モデル地区指定事業

南阿蘇村への移住定住を促進させ、且つ、地域コミュニティを再生させるために、地域住民が主体となり行政と協働し、積極的に地域再生に取り組む事業です。

平成30年10月1日施行

### ワークショップって何?

直訳すると「作業場」などと言われており、講義のように一方的に話を聞くのではなく、少人数グループに分かれて一人ひとりが発言し意見交換を行います。総意をまとめる必要はなく、グループで出た全ての意見がそのまま結果となります。普段話さない人と話す機会が作られるためコミュニケーションが深まりやすく、ひとつの目的に向かっての共同作業は一体感や達成感を実感しやすいといった特徴があります。

そしてワークショップには大事な決まり事が3つあります。

- ①他人を否定しない
- ②人の話をちゃんと聞く
- ③自分の言葉で話す

1つ目、一見して考えられないような意見も非常に大切です。「それはいいよ」ではなく「それはすごいね」と肯定で受け止めましょう。

2つ目、相手が何を想い発言しているのか理解に努めてください。

3つ目、発言を着飾る必要はありません。思ったことを素直に発言してください。



ワークショップの様子



最後は参加者の皆さんで集合写真!